

Ⅱ 園 経 営

豊かに生活する

(めざす幼稚園像)	(めざす幼児像)	(めざす保育者像)
①豊かな感動に出会える環境がある。	①友達と支え合い、思いやりのある子。	①幼児と丁寧にかかわり、幼児理解に努める。
②幼児がやってみたいことが達成できる。	②進んで環境にかかわり、気づき、感動し、好奇心あふれる子。	②幼児があこがれを抱けるようなモデルとなる。
③園全体が生活の場である。	③自分の思いを言葉で伝え、人の話を注意して聞く子。	③幼児一人一人の発達を見通し、よい援助者となる。
	④感じたこと、考えたことを自分なりに表現できる子。	④幼児、保護者と共に学び合い、育ち合う。

1. 教育目標

- げんきな子 ○ やさしい子 ○ かんがえる子

2. 具体的目標

教育目標	具 体 的 目 標
げんきな子	☆元気よくあいさつを交わす子 ☆体を十分に動かし、進んで戸外で遊ぶ子 ☆健康、安全な生活習慣が身についた子 ☆遊びや活動に意欲を持って取り組む子
やさしい子	☆友達の良さに気づき、仲良く遊べる子 ☆生き物に興味を持ち、よく世話をする子 ☆物を大切にする子
かんがえる子	☆好奇心、探求心にあふれている子 ☆自分なりに目標をもち、最後まで頑張る子 ☆考えたことを言葉で表現し、相手の話をよく聞く子

3. 指導の重点

- ◎人の話をよく聞き、思いを言葉で伝えながら楽しく遊ぶ。

4. 経営方針

- (1) 子どもの幸せを考える。
 - ・ 幼児の安全を第一に考え、安心して園生活が送れるようする。
 - ・ 教師と園児、園児相互、教師相互の信頼関係の樹立に努める。
 - ・ 幼児一人一人がが意欲をもって主体的にかかわれる環境があり、活気のある幼稚園づくりに努める。
- (2) 職員の研修を大切にす。
 - ・ 専門的知識と技能の習得と指導力の向上のため研究と修養に努める。
 - ・ 園内研修を通して、本園の教育課題解決に努める。
- (3) 全職員共通理解のもとに、何でも話し合える雰囲気と明るい職場づくりに努める。
- (4) 小学校との連携を図る。
 - ・ 小学校と緊密な連携を心掛けながら、関わりを幼稚園生活に取り込み、様々な体験を保障、充実させることで、小学校以降の生活や人間関係、学習意欲の基礎を培い、小学校への移行を円滑にしていく。
 - ・ 小学校との連携計画を立て、年間計画に位置づける。
- (5) 地域や家庭と連携を図る。
 - ・ 家庭と連携を密にし、保護者との信頼関係を築き、幼稚園教育の効果をあげる。
 - ・ 地域に積極的に出かけ、ふれあいや交流、園行事への参加など関わる機会を計画的に進め、本園の教育活動を理解してもらえるように努める。

5. 指導の要点

- (1) 幼児とのスキンシップを大切にし、信頼関係のもと幼児が安定して自らの世界を広げていけるようにする。
- (2) 一人一人の幼児のありのままの姿を受け止め、幼児理解を深め、より良い発達へ向けられるようにする。
- (3) 興味関心に基づいた直接体験が得られるよう人的、物的、空間的環境構成に努める。
- (4) 友達とのかかわりの中で相互に刺激し合うことで、幼児が自発性や社会性を獲得していけるよう、友達との十分なかかわりを大切にしていける。
- (5) 幼児期には、諸能力が個別に発達すると同時に、相互に関連し合い発達していくものもあるので、主体的な遊びの展開を通して総合的な指導を行っていく。
- (6) 幼児一人一人の家庭環境や生活経験は、それぞれ違い、発達の姿も一様ではないので、一人一人に応じた適切な指導を行う。
- (7) 幼児が感じたこと、考えたことを自分なりに表現して、豊かな感性や表現力を養っていけるよう、幼児なりの素朴な表現を大切にする。